



東京都
(医)明翔会
いしかわ歯科医院

芳賀 浩昭
先生

今回のアイテム

ポーセレン/セラミックポリッシャー

セラミックが、コンポジットレジンが、より輝く。万能シリコンポイント

Kerr社より発売になったポーセレン/セラミックポリッシャーは、セラミック補綴物やコンポジットレジン用のシリコンポイントである。

本製品の特徴は、合着後のセラミックインレーやリコール時に調整が必要となったセラミック補綴物の咬合調整を行った後、口腔内にてラボと同レベルの研磨が可能な点である。また特筆すべきは、研磨時に過剰にセラミックを削合しないため、咬合高径が研磨によって変化しにくいことにある。どんなに補綴物表面をきれいに研磨できても、セラミックの削合により咬合高径が変化しては咬合の安定が難しくなる。

本製品はセラミック同様、コンポジットレジンの研磨にも用いることができる。形態もフレーム、カップ、ミニポイントと3種類あるため、様々な部位に適用が可能で、セラミックに近い光沢のある表面を得ることができる。使用時の注意点として、筆者は必ず注水下での使用を推奨している。

回転数もなるべく一万回転/分以下で用いることが望ましい。それは、高速回転にするとセラミックやレジ

ンの表面が摩擦熱により焼けて、くすんでしまい光沢のある面が得られないためである。

実際の過程では、荒研磨から中研磨、艶出しと回転数を徐々に下げる事で、よりきれいな研磨面が得られる。また、咬合調整にはカーボラダムポイントなどではなく、12枚刃のブルーホワイトカーバードバー(Kerr)を用いると、直ちに本シリコンの荒研磨へと移行することができる。

使い方の応用として、装着から長期間経過したハイブリッドセラミックスの補綴物の再研磨・再艶出しが挙げられる。

ハイブリッドセラミックスの素材は、時間の経過とともに変色がみられることが多いが、患者の種々の事情により交換ができない場合は、本製品で研磨・艶出しを行うことで装着時当初の輝きを取り戻すことが可能である。

ポーセレン/セラミックポリッシャーはセラミックからハイブリッドセラミックス、コンポジットレジンの研磨、再艶出しなど幅広く用いることができる万能シリコンポイントといえる。

【症例1】



1. 78歳の女性。右上の補綴物の審美障害を主訴に来院。10年前に他院にてハイブリッドセラミックの修復物を装着されていた。



2. 患者の事情により、右上46番は修復物の再研磨・艶出し、右上5番はe-maxアンレーにて補綴する方針とした。



3. 右上5番のe-maxアンレーの咬合調整後の研磨をプレポリッシャー(グリーン)にて開始。



4. 右上6番のハイブリッドセラミックスクラウンをグロスポリッシャー(グレー)にて研磨。このとき、注水下にて3,000回転/分程度で行う。



5. 研磨、艶出しが完了したところ。



6. ハイブリッドセラミックに元の輝きが戻り、患者は結果に大変満足した。

技工担当：瀧澤盛史

【症例2】



1. 62歳の女性。5年前に他院で装着した右下5番のハイブリッドセラミックスクラウンと右下6番の同インレーの着色を主訴で来院



2. プレポリッシャー(グリーン)とグロスポリッシャー(グレー)にて再研磨後、ハイグロスポリッシャー(ピンク)にて艶出しを行った。



3. 装着時の輝きが戻り、患者はとても喜んだ。